

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	豊橋くすのき学園		
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日 ～ 令和6年11月30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12 (回答者数)	9
○従業者評価実施期間	令和6年11月27日 ～ 令和6年12月13日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	1
○訪問先施設評価実施期間	令和6年11月1日 ～ 令和6年12月31日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	8 (回答数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有している。	課題となる部分だけでなく、できていることや頑張っており組んだことも具体的に伝えるようにしている。	家庭でできる取り組みや、今後保育所等訪問を卒業したときを見据えて保護者から訪問先へ伝えられるように情報共有をしていく。
2	必要なときに子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や課題について共通理解を図っている。	訪問と訪問の間が空くときや長期休みの後など、様子の変化が予想されるときには連絡を取り、状況に合わせた訪問時間の設定や支援ができるようにしている。	各家庭の状況に合わせ、必要に応じて面談や電話連絡など臨機応変に対応していく。また、保護者からも連絡が取りやすいように関係を築いていく。
3	本事業所に通園していた子が多く、子どもが訪問を嫌がらず受け入れている。	がんばっていることについて、保護者から訪問員が褒めていたと伝えてもらうように協力していただき、直接支援が少ない中でも関係性が築けるようにしている。	本事業所に通園経験がない子に対しても関係が築けるように努めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	課題や困りごとが解消（または軽減）されていいない。すでに取り入れていることが多い。	保育所等訪問の担当者が一人のため、互いに相談し合える状況ではない。	その場で回答ができない質問に対しては、プライバシーに配慮した上で事業所内で相談し合える関係性をつくり、多角的な視点で捉えて支援の充実を図る。
2	訪問先担当者との情報交換が十分ではないことがある。	訪問先担当者と訪問員の認識の違いが生じている。	伝達事項の有無を確認し、必要に応じて後日電話連絡等で情報交換する。
3	家族支援プログラム（ペアレントトレーニング）や家族等も参加できる研修会の情報提供がされていない。	現在は家族支援プログラムの実施がなく、研修会の情報提供を実施していなかった。	今後家族支援プログラムを実施する際は、参加を呼び掛けていく。研修会等の情報を提供する。